

株式会社メディア・マジック

北海道札幌市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

スマートフォンアプリの開発・提供を通じて北海道の課題解決に貢献

- 路線バスの運行状況を確認できるアプリの開発・提供により、路線バスの利用者が増加
- 「ケータイスタジオ」を開発し、自社開発体制の効率化を図ると共に、新規顧客を開拓
- プログラマや起業家候補の発掘・育成などで北海道のモバイルコンテンツ・ビジネス業界を牽引

企業基本情報

所在地	北海道札幌市中央区北3条西18丁目2-10 MMAビル
電話/FAX	011-621-2500/011-621-2511
URL	http://www.mediamagic.co.jp/
代表者	代表取締役 里見 英樹
設立	1996年
資本金	7,630万円
従業員数	41人



会社概要

スマートフォンアプリの開発を得意とし、路線バスの運行情報、札幌の観光情報、家庭における省エネのアドバイス等、北海道の課題解決や地域活性化に向けたコンテンツを発信しサービスを提供。里見代表は北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会の代表幹事をつとめるなど、北海道のモバイルコンテンツ・ビジネスを牽引するリーディングカンパニー。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ IoTを活用した路線バスの運行状況をリアルタイムで確認できるアプリを開発・提供。路線バスの利用者が増加

路線バスの利用者向けに、IoTを活用したバスの運行状況をリアルタイムで確認できる、スマートフォン向けサービス「バスキタ!」を開発。GPSによる車両位置および地図情報を基にした、視覚的な情報提供により、車両の運行状況がひと目で確認できる「使いやすさ」が特徴。バスキタ!導入後、路線バスの利用者数と利用回数が増加し、地方都市における公共交通の経営安定化に寄与するとともに、地域活性化に貢献。



バスキタ!

▶▶▶ モバイルサイトの制作効率を向上させる「ケータイスタジオ」を開発し、新規顧客を開拓

中小企業経営革新支援法の認定等を経て、北海道の2008年度中小企業競争力強化促進事業を活用し、携帯電話向けインターネットサイトの制作に特化した革新的な開発ツール「ケータイスタジオ」を開発。モバイルサイトの制作効率を向上させるとともに、同業他社向けにも提供することで、新規顧客の開拓を図った。なお、2013年度補正ものづくり補助金を活用して、スマートフォン向けコンテンツ（アプリなども含む）にも対応した新開発ツールを提供。



ケータイスタジオで開発された主なモバイルコンテンツ

▶▶▶ 北海道のモバイルコンテンツ・ビジネス業界の発展に貢献

同社の里見代表は、「北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会」の代表幹事として、意欲あるプログラマや起業家候補の発掘・育成を目的としたHOKKAIDO学生アプリコンテストの開催や、首都圏の先進的な取組を進める企業の講演を内容とする会員向け勉強会を開催する等、道内のモバイルコンテンツ業界における人材確保、ビジネスの発展等に取り組んできた。



北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会の概要